

公共関与型産業廃棄物最終処分場整備事業

環境影響評価準備書

平成 30 年 10 月

一般財団法人クリーンいわて事業団

目 次

第1章 対象事業の名称等	1-1
1.1 対象事業の名称	1-1
1.2 事業者の名称、代表者の氏名及び所在地	1-1
第2章 対象事業の目的及び内容	2-1
2.1 対象事業の目的	2-1
2.2 対象事業の内容	2-3
第3章 対象事業実施区域及びその周囲の概況	3-1
3.1 自然的状況	3-1
3.1.1 気象、大気質、騒音、振動その他大気に係る環境の状況	3-1
3.1.2 水象、水質、水底の底質その他の水に係る環境の状況	3-9
3.1.3 土壌及び地盤の状況	3-12
3.1.4 地形及び地質の状況	3-14
3.1.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況	3-17
3.1.6 景観及び人と自然との触れ合いの活動の状況	3-45
3.1.7 公害苦情の状況	3-51
3.2 社会的状況	3-52
3.2.1 人口及び産業の状況	3-52
3.2.2 土地利用の状況	3-55
3.2.3 河川、湖沼の利用並びに地下水の利用の状況	3-59
3.2.4 交通の状況	3-63
3.2.5 学校、病院その他の環境の保全についての配慮が 特に必要な施設の配置の状況及び住宅の配置の概況	3-65
3.2.6 上下水道の整備の状況	3-68
3.2.7 一般廃棄物の処理状況	3-69
3.3 環境の保全を目的とする法令等により指定された地域その他の対象及び 当該対象に係る規制の内容その他の環境の保全に係る施策の内容	3-71
3.3.1 公害防止関係	3-71
3.3.2 自然環境関係	3-92
3.3.3 防災保全	3-102
3.3.4 史跡名勝文化財	3-104
第4章 方法書に関する意見及び事業者の見解	4-1
4.1 公告・縦覧の概要	4-1
4.2 住民意見及び事業者の見解	4-1
4.3 知事意見及び事業者の見解	4-2

第 5 章 環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法	5-1
5.1 環境影響評価の項目の選定及びその選定理由	5-1
5.2 環境影響評価の調査、予測及び評価の手法	5-3
5.3 方法書からの調査、予測及び評価の手法の主な修正事項	5-56
第 6 章 調査、予測及び評価	6.1-1
6.1 大気質	6.1-1
6.1.1 調査	6.1-1
6.1.2 予測及び評価の結果	6.1-14
6.2 騒音	6.2-1
6.2.1 調査	6.2-1
6.2.2 予測及び評価の結果	6.2-5
6.3 振動	6.3-1
6.3.1 調査	6.3-1
6.3.2 予測及び評価の結果	6.3-4
6.4 悪臭	6.4-1
6.4.1 調査	6.4-1
6.4.2 予測及び評価の結果	6.4-4
6.5 水質	6.5-1
6.5.1 調査	6.5-1
6.5.2 予測及び評価の結果	6.5-16
6.6 地下水位等	6.6-1
6.6.1 調査	6.6-1
6.6.2 予測及び評価の結果	6.6-11
6.7 動物	6.7-1
6.7.1 調査	6.7-1
6.7.2 予測及び評価の結果	6.7-96
6.8 植物	6.8-1
6.8.1 調査	6.8-1
6.8.2 予測及び評価の結果	6.8-32
6.9 生態系	6.9-1
6.9.1 調査	6.9-1
6.9.2 予測及び評価の結果	6.9-14
6.10 景観	6.10-1
6.10.1 調査	6.10-1
6.10.2 予測及び評価の結果	6.10-9

6.11 廃棄物等	6.11-1
6.11.1 調査	6.11-1
6.11.2 予測及び評価の結果	6.11-5
6.12 温室効果ガス等	6.12-1
6.12.1 調査	6.12-1
6.12.2 予測及び評価の結果	6.12-2
第7章 環境保全措置等	7-1
7.1 環境保全措置	7-1
7.2 環境配慮事項	7-2
第8章 事後調査	8-1
8.1 事後調査の必要性	8-1
8.2 事後調査の概要	8-1
8.3 事後調査の結果により、 環境影響の程度が著しいことが明らかになった場合の対応の方針	8-2
8.4 事後調査結果の公表の方法	8-2
第9章 総合評価	9-1
第10章 環境影響評価の受託者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地 ...	10-1